

東通村まち・ひと・しごと創生 「人口ビジョン（案）」及び「第2期総合戦略（案）」に係る意見書		
有識者氏名	東奥日報社・論説編集委員長 清藤敬	
ご意見のある方の□に✓を入れてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 人口ビジョン（案）について <input type="checkbox"/> 第2期総合戦略（案）について		
ページ	行	内容
P24～25		<p>【出生】東通村の合計特殊出生率は1.7と、全国の平均を上回っているものの、出産可能年齢の女性が村外に流出することで出生数は減少していく。結婚する、しないは個人の自由とはいえ、より効果的な結婚支援対策を講じることが、出生数の増加につながっていくはずだ。全国の合計特殊出生率（既婚、未婚にかかわらず1人の女性が生涯に産む子どもの数）は1.3とか1.4とかでも、完結出生児数（夫婦の最終的な平均出生子ども数）はここ数十年、2前後で推移している。これを見ても、結婚支援対策が重要なのが分かる。結婚支援、出産支援、子育て支援を一体的に進める必要があるのではないか。</p> <p>【平均寿命】男女とも平均寿命最下位の青森県。何歳まで生きるかということも大事だが、地域や家庭を背負っている働き盛りの人の死亡率の高さが特に問題視されている。働き盛りの人が多く亡くなることで平均寿命全体を押し下げているのだ。東通村はどうであろうか。弘前大学特任教授の中路重之氏は「学校での健康教育を充実させるだけで短命県は脱出できる」としている。教育を重視する東通村は、今以上に子どもたちへの健康教育に力を入れたらどうか。</p> <p>【関係人口】昨今、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない「関係人口」が注目されつつある。地域に刺激を与える一つの要素として、大学のゼミ生などの受け入れを検討してみたらどうか。青森市内には、自前で人口ビジョンや総合戦略を策定している県内自治体に興味を持っている私立大学もあるようだ。</p>

東通村まち・ひと・しごと創生
「人口ビジョン（案）」及び「第2期総合戦略（案）」に係る意見書

有識者氏名

東奥日報社・論説編集委員長 清藤敬

ご意見のある方の□に✓を入れてください。

- 人口ビジョン（案）について
 第2期総合戦略（案）について

ページ	行	内容
P24～25		中心地エリアにおける分譲地の販売促進と商業エリアや飲食街の構築は、相互に影響し合う一体の課題であろう。まずは、コンビニエンスストアなどの誘致を可能な限り早期に実現し、それをバネに必要な施設を一つ一つ貼り付けていけば、生活環境が次第に整っていくはずだ。商業施設の構築は、村民が特に重要としている施策でもあり、それを実現することは村外への人口流出を減らすことにもつながるのではないか。